

『通いの場』を開設したい

身近な地域の人たちが集まって、楽しくしゃべって、笑い合う。
困ったときには助け合い、お互いの暮らしを気にかける。
そんな場所をみんなで作ってみませんか。

すこく風
にめぐる

『通いの場』ができるまで

START



『通いの場』の情報を集めよう

サロンなどをすでに行っている運営者の方に『通いの場』の立ち上げについて教えてもらうのもいいでしょう。市社協に配置された生活支援コーディネーターや高齢者支援センター、市健康長寿課地域包括ケア推進室などは地域の『通いの場』の支援を行っていますので説明や運営についての情報提供ができます。
(18ページ以降参照)

1

呼びかけをして仲間を集めよう

お世話好きな人・地域のことをよく知っている人・気心知れた人・地域の盛り上げ役・相談役や見守り役など、そんな人材(人財)がご近所にはたくさんいるはずですよ。

友達や、地域の仲間、民生委員、自治会、老人会など気軽にこれからやりたいこと、地域に必要なことを話して参加を呼びかけてみましょう。

2

チェックポイント

- みんなでの話し合いが盛り上がり『通いの場』の方向が決まったら4へ進む。
- もう少しだけ、じっくり話し合うのがいいと感じたら先を急がず3に戻る。練れば練るほど居場所は輝く!

3

どんな場にするかみんなで話し合おう

運営の仲間が集まってきたら、次はこれから目指す私たちの『通いの場』をどのようなものにしていくのか、みんなで話し合みましょう。

定期的集まっておしゃべりをするだけでも楽しいものですが、そこに体操を取り入れてみたり、季節に応じたイベントを開催したり、食事を作って食べたり、それぞれの『通いの場』に応じた工夫や特色があった方が、みんなの愛着が深まります。



4 集まる場所（会場）を決めましょう

『通いの場』の会場はどこにしましょうか？

地域の集会所や公的機関の部屋を会場とすることが多いですが、個人宅や空き店舗、カラオケボックス、スーパーのフードコートなど集う場所も様々です。なかには、「別に建物がなくても、座れるベンチと日陰があれば、それで十分交流の場になる」といった声もありました。



5 開催日を決めましょう

『通いの場』の開催日は「毎月第〇の△曜日」のように、定例化していることが多いです。

定期的に開催をすることで『通いの場』が生活リズムの一部になる。「先の開催日までわかるので会場の予約がしやすい」などのメリットがあります。

近頃は、毎週や週に数回開催する『通いの場』も増えてきていて地域の居場所づくりがさらに活発になってきています。



6 設立！「無理なく」「いつでも」を目標しましょう！

【運営】一人が頑張り過ぎず、上手な役割分担を心がけましょう。『通いの場』はみんなが主役で、みんなが裏方！

『通いの場』にあまり参加しない印象の男性だって、しっかりと役割があれば積極的に参加してくれるかも。そんな良い雰囲気が続くことで、「私もできるかな？」と新しい担い手や後継者が自然と集うのが理想です。

【資金】会場使用料・お茶やお菓子代・事務用品など『通いの場』にもお金は必要！

運営を支援する市の助成金制度を利用しているところもあれば、毎回参加者が100円～300円程度の参加費を出しているところもあります。

みんなの暮らし輝く居場所



GOAL!

START



通いの場の設立はゴールでもあり、新しいスタートでもあります。この居場所をみんなですらに盛り立てて地域の宝にしていきましょう。